

学校だより

R5. 1. 25発行

清水小学校

# しみず 1A

家庭数

今年もよろしくお願いたします

校長

新しい年が始まりました。今年、「癸卯（みずのとう）」の年。これまでのことに区切りが付き、次への成長・飛躍をする年と言われます。教職員一同、保護者や清水地域の皆様と手を携えて、清水小学校の更なる発展と飛躍に力を尽くし、「ここにこ、いきいき、はつらつ」とした清水っ子の健全育成に努めてまいりたいと思います。今年も、どうぞ、よろしくお願いたします。



さて、私が教員になった頃の愛読書に、『啐啄（そったく）』や『続・啐啄』等の本があります。先輩の先生に薦められて読み、当時、深い感銘を覚えました。今でも時々読み返します。学校近くの旧玉井文具さんは、これらの本を出された玉井通孝先生のお宅です。

この『啐啄』の中に、西晋一郎氏が『東洋倫理』（岩波書店、1942）の中で天海僧正（安土・桃山～江戸時代）の言葉に触れて語られた「偏するは、即ち誤りなり」という考え方について紹介されている一節があります。今回は、その一節を基に、私なりに考えたことを述べたいと思います。

仁、過ぎればよくなる 義、過ぎればかたくなる 礼、過ぎればへつらいとなる  
智、過ぎればうそをつく 信、過ぎれば損をする ……

人間にとって大切な「徳」であっても、偏ると道を外れてしまう。人生を生きるには「中庸（ちゅうよう）」をとり、何か執（とらわ）れることなく、心を自在に置くことが大切だという考えです。

世の中には、相対するもの或いは相反するものが存在します。学校教育の場でも同じです。

知と情、理性と感性、自由と規律、権利と義務、自主と依存、厳（きびしさ）と寛（やさしさ）、父性と母性、勉強と遊び、競争と協調、個別学習と協働的な学習、紙を使った学習とICTを活用した学習、多様性と統一性、不易と流行、伝統と革新、理論と実践……。

これらは、どちらか一方に偏ってしまったら、それぞれの良さや魂のようなものまで失われてしまうような気がします。どちらか一方にのみ価値を認めるのではなく、「反対の合一」の中にこそ真実を見いだすこと。本物の教育には、そうした矛盾や相反するものの両方を含む「中庸」が必要であり、その精神の中でこそ、人間らしい人間が育っていくのではないのでしょうか。



でも、実際は、口で言うほど簡単ではありません。本物の教育を志向し、一人一人の子どもを見つめ、その子にとっての教育的ニーズを見いだしながら、より良い方向へと導いていく。それは、とても険しい「イバラの道」です。しかし、たとえそうであっても、「偏するは、即ち誤りなり」と、自分に言い聞かせながら、バランス感覚を磨き、思考や判断を正しいものにしていかなければならない、と考えています。



# 一人一人ができること

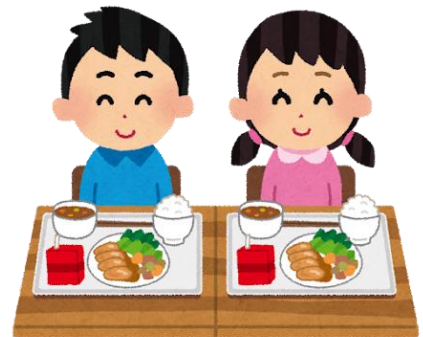
栄養教諭

地球上の人口は現在、約79億人。このうち約8億2800万人が飢餓に陥っていると言われてい  
ます。日本のように食糧が豊かな国に住んでいると、想像が付きにくいですが、日本の人口よりもは  
るかに多い人々が、日々、飢えに苦しんでいます。また、世界各地で起きている戦争などの影響で、  
日本でも食材が輸入されにくくなり、食材費も値上がりしています。食料自給率の低い日本などは、  
大きな影響を受けています。

「USDA（米国農務省）2023年1月」の調べによると、毎年世界では約27億トンの穀物が生  
産されています。これは、世界に住む80億人に平等に分配されていれば、1人当たり年間337キ  
ログラム以上食べられることとなります。厚生労働省の「国民健康・栄養調査」（2019年）では、  
日本人が実際に食べている穀物は年間約150キログラム。世界では、穀物に加えて野菜や畜産も生  
産されていますから、すべての人たちが飢餓にならないぐらいの食糧は世界にはあるのです。では、  
なぜ飢餓はなくなるのでしょうか。開発途上国と呼ばれる貧困に苦しんでいる地域では、自然や  
気象条件で十分な作物が育たないこともあります。また、国土の交通網が発達していなければ、生産  
した食糧を運搬したり、他国から必要なものを輸入したりすることも、難しくなります。一方で、消  
費者庁HPによると、日本のような先進国では、食品ロスなど食べられずに廃棄される食品の量は、  
年間約522万トンにもなり、日本人ひとり当たりが毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てていることにな  
るそうです。

近年、SDGs（エス・ディー・ジーズ）という言葉を目にする機会はないでしょうか。「持続可能  
な開発目標」の略称で、国連加盟国193国が、2016年から2030年までの間に様々な社会問  
題を達成するために掲げた目標です。この中に、「飢餓をゼロに」、「つくる責任、つかう責任」という  
項目があります。飢餓をゼロにするというのは、食糧の安定した確保や支援などです。また、つくる  
責任、つかう責任は、無駄のない消費と生産の仕組みを作っていくことです。世界からすぐに飢餓を  
無くすことは難しいですが、私たち一人一人が普段の生活から見直していけるポイントを御紹介しま  
す。

- 使いかけの食材、野菜はすぐに捨てずに、長期保存で  
きる漬物などに活用してみてください。
- 「買いすぎない」ことも大切です。「ついでに買ってお  
こうかな」と多めに買うこともあるかと思いますが、今、  
必要な分だけ買い、消費するようにならなければなら  
ないと思います。



みんなの

# もくひょう

今年はどんな年になるのかな。  
自分の目標に向かって、頑張りましょう！

3学きのめあては、なわとびのかたあしとびを15かいとべるようになることです。ふゆ休みにいっぱいれんしゅうして、さいしょは3かいだったのが11かいできるようになりました。もうすこしで15かいなので、休みじかんもれんしゅうしてごうかくしたいです。



1年 女子

ぼくは、じかんをまもることができる2年生になるために、とけいを見ててきぱきこうどうできるようにしたいです。学しゅうでは、かん字をがんばります。もじのけいこをたくさんして、1年生でならうかん字をぜんぶかんぺきにおぼえたいです。

1年 男子

学習では、おにいちゃんやおねえちゃんのように勉強ができるようになりたいから、かけ算九九をもっとはやくせいかくに言えるようになりたいです。生活では、「はやね・はやおき」をします。今は、お母さんにおこしてもらっているので、朝は自分でおきられるようになりたいです。

2年 男子

ぼくは学習がかりになりました。学習クイズを出したり、プリントをくばったりして、かかりのしごとを毎日続けたいと思います。なわとびもがんばりたいです。あやとびや二重とびなど、たくさんのわざができるようになりたいです。家でもれんしゅうして、なわとびけんていにそなえたいと思います。

2年 男子

ぼくは、なわとびの交差とびがとくいいなってきました。30回を60回にのばしたいです。休みの日には公園で練習したいです。そして、冬休みにおそね早起きになっているので、よいねかたを考えて早くねれるようになりたいです。また、周りにこまっさいそうな人がいたら、やさしい言い方で声をかけたいです。3学期は、これらの目ひょうに向かってがんばりたいです。そして、きちんとした学校生活をすごしたいです。

3年 男子

わたしのめあては三つあります。一つ目はテストの点を上げることです。見直しをきちんとしてしたいと思います。二つ目はお手伝いをがんばることです。お父さんやお母さんのために自分にできることから始めたいと思います。あと、あいさつの声が大きく出せるように心がけたいと思います。4年生に向けて、自分のめあてを大切にして過ごしたいと思います。

3年 女子

今年の目標は、これから高学年になっていくので、低・中学年のお手本になりたいです。5年生になると委員会活動も始まるのでみんなを引っ張っていきたいと思います。また、学習面では、社会の「地形」を特に頑張っていきたいです。愛媛の市町村がうろ覚えなので川の名前や山地、山脈が出てくる前に覚えたいです。



4年 男子

私の新年の目標は、水泳のジュニアオリンピックに出場して、良い成績をおさめることです。また、勉強では、家で自主的な計算トレーニングをしたり、文章読解に毎日取り組んだりして、力を付けたいです。そして、クラスの中で一番早く計算ができる人になりたいです。私は去年自分のことばかりで、あまりお手伝いができなかったので、今年はそっせんしてやりたいです。今年は友達や家族と助け合って良い年にしたいです。

4年 女子

私の3学期のめあては、1日1回は発表するという事です。2学期はあまり発表ができなかったので、もっと自分でよく考えて、進んで手をあげて発表できるようにしたいです。もう一つは、友達の気持ちを考えて行動することです。始業式で校長先生がいじめは絶対にしない、という話をしていたので、だれとでも仲よく楽しくすごして、いじめのないクラスにしたいと思ったからです。もうすぐ6年生になるので、低学年の手本になれるような行動をしていきたいです。

5年 女子

私の3学期の目標は、「高学年としてふさわしい行動をする」ということです。そのために、二つのことを頑張りたいです。一つ目は、今までよりもっと相手の目をしっかりと見てあいさつをすることです。二つ目は、低学年に学校のことをいろいろと教えてあげることです。4月からは6年生になります。尊敬されるような6年生を目指したいと思います。



5年 女子

私の3学期の目標は、たくさんありますが、特に3つに絞って頑張っていこうと思います。

1つ目は、学習に関する事です。6年生の3学期は、小学校生活の最後です。6年間で学習してきたことを振り返り、中学校に向けて特に漢字を頑張っていこうと思います。2つ目は、生活面です。まだまだコロナウィルスが油断できません。運動をしっかりとして体力をつけ、今まで通り手洗いうがいをしっかりと、予防していきたいです。3つ目は、卒業に向けてです。惜しまれて卒業式を迎えられるように、毎日めあてをしっかりと持って行動したいと思います。3月23日には、やり切ったといえるように頑張りたいです。

6年 女子

3学期に学習でがんばりたいことは、算数です。割合の問題が苦手なので、自主勉ノートにたくさん問題を解くなど、努力したいです。あと、中学校から英語が難しくなると思うので、しっかり復習しておきたいです。生活・運動面では、マラソンやなわとびがあるので、体力づくりを頑張りたいです。はやぶさとの練習をたくさんします。早寝早起きをして、健康な体づくりができるように心がけたいです。卒業に向けて、一つ一つの行動に責任をもち、立派な中学生になれるように頑張りたいです。悔いの残らない小学校生活をおくれるように一日一日を大切に過ごしたいです。

6年 女子

